

RubyKaigi2015

<http://rubykaigi.org/2015>

RubyKaigi2015
《スポンサーシップ募集要項》

2015.07.13

RubyKaigi 2015 Team





RubyKaigi は、オブジェクト指向スクリプト言語 Ruby の“国際カンファレンス”です。

世界中から Ruby のコミッターや技術者が Ruby 発祥の地である日本にて一堂に会するイベントです。2006 年からほぼ毎年開催されており、公用語に日本語・英語を揃えた“国際カンファレンス”として、世界的な Ruby コミュニティの交流のハブとして機能しています。

第 9 回目となります RubyKaigi2015 は、2015 年 12 月 11 日からの 3 日間、Ruby 技術者が集結します。

まつもと ゆきひろさん、小崎資広さんをはじめ、多くのスピーカーが登壇予定です。

今年もすばらしいひとときにご期待下さい。

写真協力 : @sora_h https://www.flickr.com/photos/sora_h/sets/72157647498340228

開催期間

2015 年 12 月 11 日 (金) ~ 13 日 (日)

場所

ベルサール汐留

東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

基調講演

まつもと ゆきひろ、小崎資広、ほか

一般講演

公募します (2015 年 8 月以降公募開始予定)

主催

RubyKaigi 2015 Team

一般社団法人日本 Ruby の会

RubyKaigi 2015

スポンサーパッケージ

	Ruby	Platinum	Gold	Silver
金額	160 万円	80 万円	40 万円	20 万円
募集枠	3 社限定	上限あり	上限あり	制限なし
ご招待	4 名	4 名	2 名	—
Web への紹介文掲載	英文 200 words 程度	英文 100 words 程度	英文 50 words 程度	英文 25 words 程度
Web へのロゴ掲載	特大	大	中	小
その他特典	Keynote の前に 3 分間 PR	—	—	—

各プラン共通特典

- ・休憩時間中にスクリーンへロゴを表示
- ・イベント参加者へスポンサー様の広告物の配布 (A4 程度)

ドリンクアップスポンサー

RubyKaigi の 1 日目、2 日目、3 日目のそれぞれの終了後に、ドリンクアップ（懇親会）のオーガナイズスポンサーを募集します。

カンファレンス後のドリンクアップは、講演者と参加者、参加者同士の交流の貴重な場となります。ドリンクアップスポンサーは、Ruby コミュニティの活性化を促し、参加者へアピールする絶好の機会です。



特別スポンサー

以下のような特別スポンサーも募集しております。

詳しくは RubyKaigi 2015 Team へご相談ください。

✉ 2015@rubykaigi.org

RubyKaigi2014 の例

- ・ Wi-Fi、インターネット提供スポンサー
- ・ ランチ提供スポンサー（費用目安：約 50 万円 /1 日当たり）
- ・ チケット販売管理サービススポンサー
- ・ 請求書サービススポンサー



スポンサーシップ応募方法

連絡先 担当：鳥井雪  2015@rubykaigi.org

支払先 三井住友銀行 目白支店 (普)6888135 イツパンシヤダンホウジン ニホンルビーノカイ

CoC & アンチハラスメントポリシー

<http://rubykaigi.org/2015/code-of-conduct>

RubyKaigi は昨年に引き続き、アンチハラスメントポリシーを策定しました。

私たちは多くのみなさんのご参加を望んでいます。ポリシーは、皆さんが衝突なくつどえる場の維持のためにあります。

禁止事項を増やしてコミュニティを分断したいからではないということをご理解ください。

ポリシーの内容は常識を逸脱しておらず、さほど困難な内容をお願いしているわけではないと思います。下記をご一読いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願いします。

ポリシー

RubyKaigi はみなさんの参加で成立していますから、いかなる形であれ、いやがらせは禁止です。

ここでいういやがらせは性的なものに限らず、障碍、あるいは外見、あるいは人種、あるいは出身、あるいは宗教に関連するものなども含みますし、これらに限りません。

- ・これらに関して攻撃的な発言をすること、
- ・脅迫、
- ・ストーキング、
- ・つきまとい、
- ・不適切な接触、
- ・性的な画像の掲示などを含む望まれない性的なアトラクション

これらはすべていやがらせです。

いやがらせを止めるように言われた場合は直ちにしたがってください。

主催者はいやがらせを行った人を会場から出入禁止にする可能性があります。

いやがらせを受けている、または受けている人を見かけた、あるいはその懸念がある等の場合はただちにスタッフに知らせてください。スタッフは名札で区別できます。

スタッフは皆さんが警備あるいは警察に通報する必要がある場合や、エスコートが必要な場合、会場内でいやがらせから皆さんを守る必要がある場合などは、必要な措置を講じます。